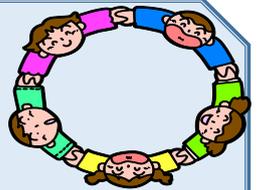


みんなそろって輪になって



◇本年度の重点目標

自己肯定感を高め、自他の成長を喜べる子どもの育成
笑顔いっぱい!!できた!わかった!がんばった!自信がついた!

第9号 令和3年12月23日

2学期を振り返って

校長 大橋 昌樹

早いもので令和3年度の2学期も終わりとなります。2学期もコロナ禍での教育活動となり、運動会、修学旅行、学習発表会等、今までとは違う活動になりました。学校としましては、この環境の中で、できる最善を目指して実施してきたつもりですが、今後どうしていくのかについては、状況に応じた改善を続けて行かなくてはならないと考えています。

このような状況においても、子どもたちは、前向きに取り組み、目標を達成してきたと思います。何ができた、何ができなかっただけでなく、できる範囲でどれだけ力を付けたかが大切であると感じています。現在も、予測が困難な状況が続いており、子どもたちが大人になる将来は、このパンデミックが収まったとしても、グローバル化の進展や技術革新等により社会構造や雇用環境が加速度的に変革していくことは間違いないでしょう。今、苦勞していることは、必ず将来役に立つと考えております。

いじめ問題の取組について

今年も、いじめ防止や早期発見、早期解消のために日常的な教育相談やアンケート等を活用して取り組んで参りました。認知については、いじめかどうかを判断するのではなく、児童が「嫌な思い」や「苦痛」を感じている場合は、認知として初期段階から対応しております。また、1学期は、いじめとして対応したのは1件でしたが、早期解消のために、対応者や対応内容、スケジュールを明確にした「いじめ発見・対処プラン」を実施することで解消することができました。11月にも全児童にアンケートを実施しましたが、「嫌な思い」や「苦痛」を継続して感じているケースはありませんでした。

今後も丁寧に対応していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

保護者・児童アンケートについて

先日は、保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。詳細は次号でお知らせいたしますが、大まかな傾向をお知らせします。

【児童アンケート】

学習に関しては、「めあてや課題をもって学習」で向上の傾向が継続しています。家庭学習もやや向上しています。心の面では、「挨拶や正しい言葉遣い」もやや向上の傾向が見られました。メディアに触れる時間は、やや改善が見られましたが、目標は達成できませんでした。

本年度の重点目標の「自己肯定感」に関わる項目では、「自分にはよいところがある」はやや低下が見られましたが、「友だちのよさやがんばりを認めている」では、目標を大きく越え、「将来の夢や目標をもっている」でも、目標を達成することができました。

【保護者アンケート】

家庭教育やメディアに触れる時間は、向上傾向が見られました。学校・家庭・地域の連携や小中一貫教育は継続して高評価をいただいております。

タブレットの持ち帰りやアンケートの質問項目等につきましては、改善のご要望もいただきました。改善を検討すると共に何らかの形で回答させていただきたいと考えております。

25日(土)から冬休みとなり、お正月も迎えることとなります。2学期も、コロナ禍での気疲れがあったことと思います。ご家族のふれあいで、心も元気になってくれたらと願っています。1月18日(火)の始業式では、東小っ子全員が笑顔で元気よく登校してくることを楽しみにしています。

異学年交流

12月1日(水)、4年生が3年生を招待して「新スポーツ」(風船バドミントン・障害物フラッグ・お題リレー)を行いました。それぞれのグループで説明をして、3年生に体験してもらいました。閉会式では3年生から、「たくさん優勝できて楽しかったです。」「たくさん準備してくれて楽しくできました。」など、多くの感想をもらえたので4年生は「予定通りに行うのは難しかったけれど楽しんでもらえて嬉しかった。」という気持ちになったようです。

12月15日(水)、2年生が1年生を招待しておもちゃ広場(割り箸でっぼう・風で動く車・ぶんぶんごま・ゴム弓矢・ごろんごろん・風車)を開きました。「いらっしやいませ。」と大きな声でお客さんを呼ぶ声が響くプレイルームで、1年生がそれぞれのお店を回りました。初めは恥ずかしがったり、どうやって話してよいか戸惑っていたりした2年生ですが、しばらくすると、丁寧に説明したり、遊び方の見本を見せたりと、お兄さん、お姉さんの姿が見られました。1年生のためにと準備してきた頑張りが当日に繋がり、生き生きと活動していた子どもたちでした。

12月3週目、5年生は、4つのグループに分け、下級生との遊び会を計画して実施しました。1年生と4年生とは「ドッジボール」、2年生とは「警どろ」、3年生とは「鬼ごっこ」。各学年から、計画してもらえて楽しかった感想がよせられました。3学期に内容や方法の見直し改善を図って遊ぶ予定です。



縄跳びの取組

11月から、体力の向上を図るため、縄跳び検定カード(初級・中級・上級)を活用し、取り組んでいます。初級カードにはなんと二重跳び7回もあり、「難しい。」「とべない。」と思いつつも練習を続けています。中級に進んだ児童が見本を示したり、こつを教えたりしながら練習する様子も見られます。1~3年生の回数確認は体育委員会が補助しています。



校外学習・出前授業・講話

12月2日(木)全校朝会で学校運営協議会委員の白川さんが講話をしてくださいました。1・2年生はZOOMで3~6年生は体育館で参加しました。お米に係わる(米一俵の重さ、粳摺り、茶碗一杯のごはんのエネルギー量、お米の漢字の意味、花の咲く時間などを〇×クイズ形式問題で出していたきました。

12月3日(金)、3年生は総合的な学習の時間に地域の元気づくり課の山田さんから、さけの姿や名前の由来・さけの一生・川に放すまでの育て方等について教えていただきました。また、12月13日(月)には、地域の元気づくり課から400個のさけの卵を頂きました。さけの卵を育てながら成長の様子を観察したり、さけについて調べたりしています。育てたさけは、3月に放流を行います。

12月15日(水)、6年生は総合的な学習の時間に町議会の見学に行きました。子ども達は初めて見る議場に少し緊張気味でした。今後、よりよい町にするためのアイデアを提案する「子ども議会」を学校で開き、3学期には役場に行って発表する予定です。

12月20日(月)、3年生が社会科の学習で交流プラザつつじ館へ行き、昔使われていた道具にはどんなものがあったのか、今との違いなどについて調べました。また、あやめ学園の方にもご協力いただき、昔の道具や農業についての説明をしていただきました。実際の道具を見たり、使い方を聞いたりすることで、学びを深めることができました。



教職員が着任しました

12月1日に堀田欣宏(ほりた よしひろ)教諭がつつじ学級の担任として着任いたしました。

12月17日には高垣仁隆(たかがき よしたか)教諭が学習の補助をする時間講師として着任いたしました。子どもたちの支えになることを心掛けて対応いたします。よろしくお願いいたします。

12月29日(水)~1月3日(月)の学校閉庁日に、お問合せ等がありましたら、東神楽町役場の(☎83-2111)まで、連絡をお願いします。